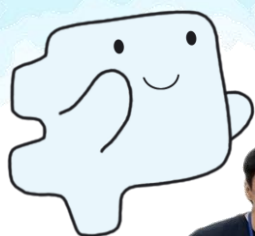


えんがわ だより

TAKE
FREE

No.207 2024.8.



居場所探訪プロジェクト

どうやってそこは〈居場所〉となったのか

企画の趣旨・経緯 「居場所探訪プロジェクト」について

調布市市民活動支援センターの運営委員会では2021年10月から2024年6月まで約2年半かけて、「居場所探訪プロジェクト」を実施しました。このプロジェクトは市内の各地域に「居場所」が運営されていること、特に市民が中心になって開設、または、運営している「居場所」で多彩な活動が行なわれていることに注目し、運営委員が居場所を運営している団体や組織を20か所ほど訪れ、活動内容や運営実態について聞き取り調査を行いました。

その結果、それぞれの「居場所の」成り立ちや目指すところ、活動の内容や規模、そしてスタイルは実に多彩で、一つ一つがユニークだとわかりました。全て社会に大きく開かれていて、運営に携わっている方々はみなさん同じように生き生きと充実した様子で活動なさっています。地域の人々のために頭も体も動かし、志を共有してともに働く人々を招き入れ、活動が充実していく中で、心温まる、親密なコミュニティが育っています。

このプロジェクトの成果を市民の皆様還元し、共有させていただくために調布市市民活動支援センターでは2024年7月6日に「居場所探訪プロジェクト」報告会を開催し、探訪した17か所の「居場所」をご紹介しますためにこの資料を作りました。ゆっくりご覧いただき、私たちの調布の市民社会に鮮やかに色づいている花々を味わっていただければ幸いです。

市民活動支援センター運営委員会
「居場所探訪プロジェクト」チーム
村上むつ子



居場所探訪プロジェクト スケジュール
13：30～企画説明
13：50～基調講演
14：15～しばさき彩ステーション（発表）
14：35～川の図書館（発表）
15：05～仙川POSTO（発表）
15：25～グループごとに感想共有
16：05～質疑応答
16：20～まとめ

基調講演（東京都立大学 室田信一 准教授）

基調講演では、室田先生から「居場所」をそれぞれの分類によって、機能や意味を整理していただきました。
自分自身が、関係性を含んだ空間に落ち着きや安らぎ、活力などを感じることができる空間の概念であること。人によって感じ方は様々であり、「居場所」は個人的で、主観的で、暫時的なことを以下のように分類して、説明していただきました。



東京都立大学 室田信一准教授

水田委員長を中心に運営委員が準備、司会やファシリテーションを担いました。定員を超える84名の参加者に来場いただきました。

居場所とは・・・？

- ①サグラダ・ファミリア…常に進化をし続ける居場所
- ②なぎさ…福祉施設と地域コミュニティの「波打ちぎわ」のような存在の居場所
- ③部室…本来の使い方以外の使われ方で人の集う場となっている居場所
- ④メッカ…象徴的・地域のシンボルタワーのような居場所



市民活動支援センター運営委員 浜本さん

その後、各居場所より、それぞれの視点でお話をいただきました。

- 居場所実践者…開設した経緯、大きく踏み出したキッカケ・想い
- 常連の参加者…参加したきっかけ、自分の好きな過ごし方、居場所の魅力について

居場所の実践者からは、「自分自身の価値観を表現する場」「感染症禍に自分のできることを実現した」「日々の業務を通じて感じ取ったこと」「生活の中に詩性ある方が幸せと考え、“詩的公共空間”として実施している」など、活動者それぞれの日常から居場所活動を開始するきっかけ、動機になったことが話されました。

また、活動開始後は自身も居場所に参加する人や交流に影響を受けたことも語られました。

常連の参加者からは、「家族を失い気力を失っていたところ、自分の心地良い場所を見つけた」「活動者のことを人としてリスペクトしている」「気が付いたら常連と呼ばれていた」「ボランティアではなくサポーターという意識」など。

それぞれの居場所が発する魅力や想いが、参加者それぞれのストーリーに影響したことが感じられるお話を伺い、繋がりや各居場所の持つ多様性を知ることができました。



川の図書館 熊谷さん



POSTO 田中さん



しばさき彩ステーション 大木さん

その後、グループに分かれて聴講者同士、意見交流を行う中で、「どこでも居場所になれる」「やりたいことをしてやめたければやめる」「まずやってみる」など、講師、登壇者の言葉が印象に残ったという声が聞かれ、とても有意義な基調講演・意見交換の機会となりました。

市民活動支援センター「市民が主役のまちづくり」をコンセプトに運営しています。ボランティアや市民活動に関するご相談をお受けしています。

【問合せ】市民活動支援センター
電話：042-443-1220 FAX：042-443-1221
Mail: npo-center@ccsw.or.jp



市民活動支援センターHP



居場所探訪PJ
報告書

市民活動支援センター
HP



市民活動支援センターからの発信



一緒に声を出しましょう！！「染地deラ・ラ・ラ」

あれは2年前の事。「1人で暮らしていると、声を出さずに過ごしてしまうので、楽しく声を出せる機会を作って欲しい」と相談を受けました。

それをきっかけに、音が外れても、リズムが外れてもいいんです。一緒に声を出して歌いましょう！！をテーマに『染地deラ・ラ・ラ』を企画。T先生とY先生にご協力いただき令和6年1月に活動がスタートしました。前半は、T先生のもと「腹式呼吸法」「滑舌を良くする早口言葉の練習」「脳トレ輪唱」など、楽しく声を出す練習をしてからY先生のギターに合わせて昭和歌謡から演歌、唱歌までバラエティーにとんだ228曲の中から、歌いたい曲を選び、みんなで思う存分歌います。帰りは、スッキリ！！いい顔で「楽しかった！また来月！」「染地deラ・ラ・ラ」は毎月第2土曜日、13:30～15:00で開催しています。気楽にご参加ください。

染地コーナー 渡邊



市民活動支援センター ご利用時間にあたって

市民活動支援センターでは、館内の一部空間を学生さんや社会人の方など、勉強や集中した作業をする方へ、無料でご利用が可能なフリースペースとして、準備しています。

また、個人が活用可能なパソコンコーナーをはじめ、大量印刷やロッカー・メールボックスといった活動団体に優しい設備も好評です。

8月の夏休み期間中は、受験生を中心に学生の皆さんの利用が大きく増える時期で、初めて利用する方より、ご質問を受けることも多いので、ここにご紹介いたします。皆様に気持ち良くご利用いただくため、ご協力をお願いいたします。

市民活動支援センター 北島

調布市市民活動支援センター サービス受付時間一覧（抜粋）

サービス名	利用・受付時間	曜日
はばたきスペースの利用	8:45-21:45	月-日
はばたきスペース 予約受付	8:45-21:00	月-日
貸出PC利用(印刷)	8:45-21:30	月-日
ロッカー・メールボックス 申し込み受付	8:45-17:00	月-日
ロッカー・メールボックス 利用	8:45-21:30	月-日
大量印刷機利用 利用	9:00-20:00	月-日
ボランティア、市民活動に関する相談	9:00-17:00	月-土

※1. 飲食は可能です。（但し、ごみは各自お持ち帰りください）
※2. 貸出PCは数に限りがあり、60分以上ご利用の際は、待機状況によって交代をお願いいたします。
※3. 他の利用者の迷惑になる行為をされる際は、ご利用を断らせていただく場合があります。
※4. 毎月、第3月曜日が閉館日（祝日の場合は翌日）詳細はセンターホームページをご確認ください。

2024.8月改訂版

市民活動支援センター運営委員会について

市民活動支援センターの円滑な運営と、利用者の視点に立った効果的な事業推進を図るため、市民活動支援センター運営委員会を開催しています。希望する方は委員会の傍聴ができます。

調布市市民活動支援センター令和6年度第4回運営委員会開催報告

以下の議題について、審議、協議を行いました。

- ・居場所探訪プロジェクトより報告（詳細は1面記事）
- ・えんがわ文庫との交流
- ・えんがわフェスタに向けたグループワーク
- ・サマーボランティア経過報告



市民活動支援センター
運営委員会議事録は、
HPで公開されています。

市民活動支援センターHP



令和6年度

市民活動支援センター運営委員会日程

- 第5回：9月12日（木）18:30-20:30
第6回：10月19日（土）15:00-17:00
第7回：11月12日（火）18:30-20:30
第8回：12月21日（土）10:00-12:00

【お問合せ先】市民活動支援センター

☎042-443-1220

✉npo-center@ccsw.or.jp



えんがわだよりに掲載する、ボランティア・市民活動団体の情報を募集しています

市民活動支援センターでは、ボランティア・市民活動の支援および相談を受け付けています。
「私たちの団体、活動の情報を発信したい！」方、市民活動支援センターまでご相談ください。
※営利目的、または特定の政治、宗教上の主義を推進し、支持し、又はこれに反対することを主たる目的とするもの場合は、掲載をお断りする場合があります。



ボランティアの
募集に
関すること

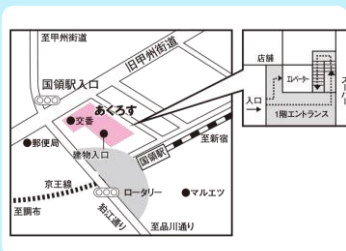
市民活動団体の
紹介に
関すること

市民活動団体の
行事の告知に
関すること

市民活動団体の
メンバー募集に
関すること

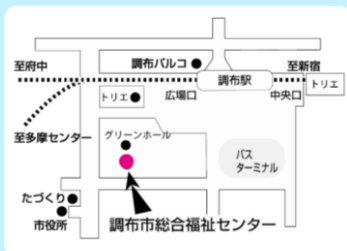
市民活動支援センターと、7カ所のボランティアコーナー

●市民活動支援センター



国領町2-5-15コクティ2F
TEL 042-443-1220
FAX 042-443-1221
Mail npo-center@ccsw.or.jp
【開】8:30～22:00
【休】第3月曜日
(祝日の場合は翌平日)

●小島町コーナー



小島町2-47-1
総合福祉センター2F
TEL 042-481-7695
FAX 042-481-6611
Mail kojimacho@ccsw.or.jp
【開】月～金 9:00～17:00
【担】佐藤・浅見

●染地コーナー



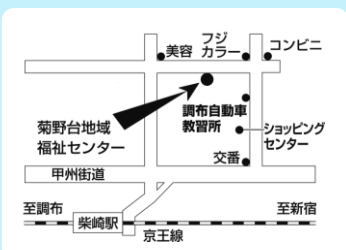
染地3-3-1
染地地域福祉センター内
TEL/FAX 042-481-3790
Mail somechi@ccsw.or.jp
【開】火～土 9:00～17:00
【担】渡邊

●西部コーナー



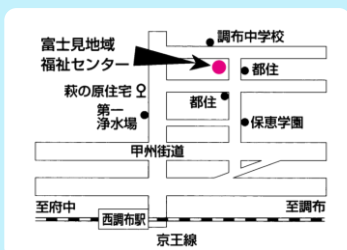
上石原2-15-6
西部地域福祉センター内
TEL/FAX 042-426-4335
Mail seibu@ccsw.or.jp
【開】火～土 9:00～17:00
【担】涌井

●菊野台コーナー



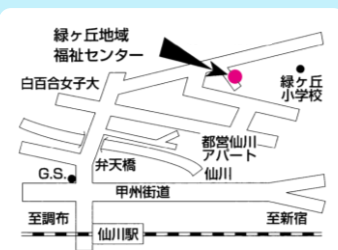
菊野台1-38-1
菊野台地域福祉センター内
TEL/FAX 042-481-6500
Mail kikunodai@ccsw.or.jp
【開】火・木・土 9:00～17:00
【担】青木

●富士見コーナー



富士見町4-15-6
富士見地域福祉センター内
TEL/FAX 042-481-8719
Mail fujimi@ccsw.or.jp
【開】火・木・土 9:00～17:00
【担】岡澤

●緑ヶ丘コーナー



緑ヶ丘2-18-49
緑ヶ丘地域福祉センター内
TEL/FAX 03-3326-4088
Mail midori@ccsw.or.jp
【開】火・木・土 9:00～17:00
【担】伊藤

●野ヶ谷の郷



深大寺東町6-27-3
TEL/FAX 042-481-1838
【開】火・木・土 10:00～16:00
地域のボランティアスタッフが運営しているコーナーです！ボランティアスタッフを募集しています。

えんがわファンド
サポーター募集中！

調布のボランティア・市民活動を「資金」と「つながり」で助成します

1口3,000円(年間)

サポーター期間：2024年4月1日～2025年3月31日

会費は、地域や社会の課題を解決するために調布で活動するボランティア・市民活動団体等を応援する助成金「えんがわファンド」の原資になります。

